

保護者の皆さまへ

お子さんと一緒に確認しましょう

子どもたちが、毎日を安心して過ごせるように、家庭でもできることを一緒に確認してください。



家庭でできる安全チェックリスト

- ☐ 家族の合言葉を決めていますか？ 迎えに来た人が家族から依頼を受けた者どうか、合言葉で確認。
- ☐ 学校から家までの安全な道を知っていますか？ 人通りの多い道、助けを求めやすい場所を確認。
- ☐ 困ったときに頼れる大人の方を3人言えますか？ 家族、先生、近所の人など。
- ☐ 保護者の電話番号を覚えていますか？ 紙に書いて、カバンやお財布に入れておきましょう。
- ☐ SNSで住所、学校名、位置情報を公開していませんか？ SNSへの投稿・プロフィール・写真などでは、個人情報の扱いに注意しましょう。
- ☐ お子様が「なんとなく怖い」と言ったとき、話を聞く約束をしていますか？ 小さなサインを見逃さず安心して話せる環境を作りましょう。

子どもを守るために親ができること

- ✓ 見知らぬ人からの誘いや誘惑を無視すること、また大声を出したり、逃げるよう繰り返しお子様に教えることも重要です。
- ✓ ショッピングモールなど公共の場では、常にお子様から目を離さないでください。

マレーシアの犯罪情勢：児童の行方不明事件の概況(過去10年間)とその特徴

- 2024年7月、ジョホール・バルにて開催された盆踊り会場にて、6歳女児の行方不明事件が発生。約72時間後にジョホール・バルから約370km離れたホテルで発見され、誘拐犯は逮捕されました。2024年8月、警察発表によるとマレーシア国内からの連れ去りや、保護者の下からの連れ去り事件は2020年から過去5年間で246件、監禁目的の拉致・誘拐事件は251件発生していると発表しています。



Albertine Leo Jia Hui, the six-year-old girl found safe in Batang Kali after being kidnapped, has been discharged from the hospital this afternoon.

- 2025年2月付け当地報道によると、2014年から過去10年間で、マレーシア全土で約2万件もの行方不明事件が発生。その内約64%が18歳未満、18歳未満の内約92%が女性、年齢別では13～15歳が最多、地域別ではセランゴール州やクアラルンプール、ジョホール州など都市部で多く発生しているとの特徴があります。事件の背景には、家庭内トラブルのほか、事件・事故に巻き込まれたケースもあり、殆どのケースは発見保護されているものの、死亡事案も報告されています。



- 保護者の皆様におかれては、子ども達が安心してマレーシア生活を送れるよう、改めて前記の安全対策に努めてください。